

第1回計画策定作業部会 グループワーク 意見要約 (施策分野別)

※5/29の第1回計画策定作業部会時点の施策分野です

作成日:令和8年(2026年)6月

施策分野1 相談支援

課題	提案
・相談支援機能の体制整備が必要 ・人材・専門性の不足 ・社会資源の不足	・8050問題・引きこもり支援の強化 ・ピアサポーター養成 ・事業所情報の見える化 ・重層的支援ネットワークの構築

施策分野2 障がい児支援・教育

課題	提案
・教育・保育・福祉の連携不足 ・家族の制度理解が不足 ・重度障がい児を受け入れる施設の不足 ・合理的配慮の不足	・教職員と福祉事業所の交流の推進 ・通学支援事業の創設 ・インクルーシブ教育の推進 ・学校のバリアフリー化 ・親の就労状況に関わらない支援が必要 ・医療的ケア児の公立幼稚園・保育園での受け入れ

施策分野3 地域生活

課題	提案
・サービスの質・選択肢・費用に課題 ・医療的ケア児者へのガイドヘルプの対応 ・休日・放課後の過ごし方が限定的 ・障がい者スポーツの普及・啓発	・グループホームの増設 ・地域生活移行推進事業の導入 ・障がい者スポーツに関する情報提供 ・学校・事業所以外の居場所づくり ・所得・就労保障

施策分野4 住まい・生活環境

課題	提案
・グループホーム不足 (特に重度障がい者・強度行動障がい者を有する人向け) ・こころのバリアフリー不足 ・重度障がい者のくらしの場がない ・吹田市の地理的特性(高低差・歩道)への対応	・入所施設の整備 ・公営住宅の障がい者枠の拡大 ・グループホーム創設時の建築確認済証要件の撤廃 ・ひとり暮らしサポート体制の強化 ・点字ブロック上の違法駐輪の撤廃

施策分野5 就労

課題	提案
・就労選択支援の道筋が不明確 ・就労継続支援A型の事業所が65歳までしか利用できない ・工賃の低さ	・一般企業への合理的配慮の浸透 ・賃金・工賃のアップ ・在宅ワークの充実 ・就労継続支援A型とB型の間隔的な就労支援事業所の創設

施策分野6 情報アクセシビリティ・意思疎通支援

課題	提案
・情報が伝わりにくい ・当事者会委員への配慮不足 ・手話通訳体制の不足	・電子図書の充実 ・ピクトグラムの活用 ・市民病院への手話通訳者配置 ・事業所へのICT活用に向けた補助 ・ヘルパー向け無料の手話講座

施策分野7 権利擁護

課題	提案
・意思決定支援の基準が不明確 ・成年後見制度の使いづらさ ・虐待件数が増加傾向	・成年後見人の育成 ・社協の日常生活支援事業の活用 ・虐待防止プロジェクト ・お金の使い方を学ぶ機会づくり

施策分野8 防災・防犯

課題	提案
・個別避難計画の作成が進まない ・要援護者名簿の作成が困難 ・福祉避難所の周知不足 ・坂道での避難が困難	・小学校単位での防災対策 ・当事者会作成の防災ハンドブックの配布 ・地域ごとの勉強会・訓練の実施 ・障がい種別ごとの避難場所の確保 ・坂道地域での緊急時サポート体制の強化

施策分野9 人材確保・育成・サービス質向上

課題	提案
・危機的な人材不足 ・給料の低さ ・離職率の高さ ・地域生活支援事業への処遇改善加算がない	・法人・事業所を超えたインターンシップの受け入れ ・地域生活支援事業への処遇改善加算の導入 ・ボランティアから福祉への導線確保 ・小中学校での福祉教育

施策分野10 障がい理解促進・差別解消

課題	提案
・外から見えにくい障がいへの理解不足 ・グループホーム開設時の地域の理解不足 ・医療アクセスの困難さ	・当事者参画の推進 ・民間事業者への合理的配慮の研修 ・学校教育との連携 ・発育段階からの子供への啓発 ・先進自治体との交流